

2007年度シニアリーグ

優勝 Cチーム 10勝 5敗

監督 長谷川 正顕 主将 愛澤 眞滋

伊藤 住夫	平林 裏
石川 清明	小池 辰男
下平 義郎	木川 史弘
河下 浩信	西山 晃

◎公式戦記録第33期勝敗表

●シニアリーグ 第15戦まで(全日程終了) *引分試合は、0.5勝、0.5敗で勝率計算

順	チーム	C	B	A	D	勝	負	分	勝率	得点	失点	打率	防御率
1	C	***	○●○○○●	○○○○●	○○●○●	10	5	0	0.667	175	87	.334	3.78
2	B	●○●●○	***	●○○○○	●△○○○	9	5	1	0.633	127	113	.317	2.96
3	A	●●●●○	○●●●●	***	○○●○○	6	9	0	0.400	119	143	.314	5.20
4	D	●●○●○	○△●●●	●●○●	***	4	10	1	0.300	95	183	.273	6.85

【優勝監督コメント シニアCチーム監督 長谷川 正顕】

シニアCチームの皆さん、優勝おめでとう御座います。一年間お疲れさまでした。

振り返りますと本年度のCチームはリーグ戦に入る前に、キャプテンと試合の組立てを幾度も話し合つてきました。その結果、投手のローテーションを作り守備と打順を考え試合に望み、その結果、みごとに選手の心が一つになり、良い結果が表れた一年がありました。

ヘルプして頂いた皆様、御苦労様でした。

今後共にシニアが長続き出来ます事を望みます。

投手部門タイトル

- ☆ 最多勝利投手 木川 史弘 (C) 7勝1敗
- ☆ 最優秀防御率 名雪 順一 (B) 3.32
- ☆ 勝率1位 木川 史弘 (C) 7勝1敗 .875
- ☆ 最多奪三振 名雪 順一 (B) 44個
- ☆ 最多完封試合 伊藤 住夫 (C) 1試合
- ☆ 最多無四球試合 島崎 巍 (D) 4試合

2007年度投手成績表

順位	背番	氏名	防御率	登板数	投球回	打者数	被安打	被本塁	奪三振	四死球	失点	自責点	完投数	無四球	完封数	勝利	敗戦
1	25	名雪 順一	3.32	14	76	395	109	2	44	23	100	36	9	0	0	6	5
2	1	伊藤 住夫	3.68	6	40	202	37	0	20	34	41	21	6	0	1	3	3
3	60	木川 史弘	3.69	8	55	239	61	0	15	13	38	29	8	2	0	7	1
4	21	片倉 政勝	4.51	13	54 1/3	287	93	3	24	15	74	35	3	1	0	5	4
5	99	清水 敬之	5.41	7	32 1/3	189	65	1	10	16	63	25	3	0	0	1	4
6	45	島崎 巍	6.76	9	48 2/3	263	88	3	27	12	85	47	7	4	0	3	4

規定投球回未満

順位	背番	氏名	防御率	登板数	投球回	打者数	被安打	被本塁打	奪三振	四死球	失点	自責点	完投数	無四球	完封数	勝利	敗戦
	97	西山 晃	0.00	1	2 1/3	11	0	0	2	3	2	0	0	0	0	0	0
	62	上野 正二	1.67	6	21	101	25	0	16	8	13	5	1	1	0	3	0
	82	大谷 潔	2.80	2	5	29	7	0	1	4	10	2	0	0	0	0	1
	22	水野 幸雄	3.50	3	6	28	7	0	2	3	5	3	0	0	0	0	1
	74	篠原 二郎	6.21	7	23 2/3	131	37	0	6	22	36	21	1	0	0	1	2
	46	成瀬 賴人	7.00	3	4	28	5	0	0	7	10	4	0	0	0	0	0
	65	佐藤 奉文	7.00	4	9	52	10	0	1	13	18	9	0	0	0	0	2
	7	長谷川 正顯	10.50	1	2 2/3	19	3	0	0	8	6	4	0	0	0	0	1
	57	町田 健一	14.00	1	2	16	3	1	0	6	7	4	0	0	0	0	1
	51	平澤 慧一郎	21.00	4	4	32	11	0	4	8	17	12	0	0	0	0	0

捕手部門タイトル

- ☆ 最多阻止数 和田 恵二 (B) 4個
 ☆ 最多阻止率 和田 恵二 (B) . 048

打撃部門タイトル

- | | | |
|--------|-----------|--------|
| ☆首位打者 | 清水 敬之 (D) | 0. 615 |
| 2 位 | 愛澤 眩滋 (C) | 0. 457 |
| 3 位 | 木川 史弘 (C) | 0. 452 |
| 4 位 | 小池 辰男 (C) | 0. 438 |
| 5 位 | 服部 要司 (B) | 0. 422 |
| ☆本塁打王 | 小池 辰男 (C) | 3本 |
| ☆打点王 | 小池 辰男 (C) | 26点 |
| ☆得点王 | 愛澤 眩滋 (C) | 32点 |
| ☆最高出塁率 | 清水 敬之 (D) | 0. 638 |
| ☆盗塁王 | 田中 誠 (D) | 30個 |
| ☆四死球王 | 愛澤 眩滋 (C) | 12個 |
| ☆新人王 | 該当者なし | |

2007年度打撃成績表

順位	背番	氏名	試合数	打率	打席	打数	得点	安打	二塁打	三塁打	本塁打	打点	四死球	盗塁	三振	犠打飛	妨害	塁打	長打率	出塁率
1	99	清水 敬之	14	0.615	44	39	16	24	6	6	0	9	4	4	2	1	0	42	1.077	0.636
2	96	愛澤 眼滋	15	0.457	58	46	32	21	9	1	2	11	12	10	1	0	0	38	0.826	0.569
3	60	木川 史弘	15	0.452	51	42	22	19	7	3	0	23	9	13	1	0	0	32	0.762	0.549
4	50	小池 辰男	15	0.438	52	48	25	21	2	2	3	26	2	11	1	2	0	36	0.750	0.442
5	86	服部 要司	15	0.422	49	45	10	19	6	0	0	11	4	14	0	0	0	25	0.556	0.469
6	22	水野 幸雄	14	0.419	46	43	13	18	4	2	1	10	2	14	0	1	0	29	0.674	0.435
7	21	片倉 政勝	15	0.415	43	41	8	17	7	2	1	18	1	7	2	1	0	31	0.756	0.419
8	39	和田 恵二	15	0.413	52	46	23	19	2	2	0	15	6	20	1	0	0	25	0.543	0.481
9	65	佐藤 奉文	15	0.409	46	44	18	18	4	2	1	13	2	17	5	0	0	29	0.659	0.435
10	49	岡崎 正夫	13	0.389	38	36	10	14	1	1	0	11	1	0	3	1	0	17	0.472	0.395
11	59	下平 善郎	14	0.386	48	44	16	17	1	1	0	17	3	15	2	0	1	20	0.455	0.426
12	1	伊藤 住夫	14	0.383	51	47	19	18	4	1	0	12	3	13	1	1	0	24	0.511	0.412
13	27	木村 善一	15	0.378	53	45	21	17	3	3	0	7	8	15	4	0	0	26	0.578	0.472
14	80	田中 誠	14	0.372	50	43	19	16	1	0	0	5	7	30	5	0	0	17	0.395	0.460
15	70	河下 浩信	14	0.362	52	47	20	17	6	1	0	19	5	11	4	0	0	25	0.532	0.423

16	79	岡地 優夫	15	0.357	47	42	8	15	6	1	0	8	5	8	1	0	0	23	0.548	0.426
17	62	上野 正二	13	0.351	43	37	10	13	7	0	1	19	6	1	6	0	0	23	0.622	0.442
18	25	名置 順一	14	0.342	47	38	16	13	6	2	0	12	8	8	2	1	0	23	0.605	0.447
18	51	平澤 慧一郎	12	0.342	41	38	9	13	4	0	1	12	2	10	0	1	0	20	0.526	0.366
20	56	小林 恵一	14	0.316	45	38	12	12	3	1	0	10	7	6	2	0	0	17	0.447	0.422
21	42	木村 清	15	0.310	47	42	13	13	1	1	0	8	2	10	0	3	0	16	0.381	0.319
22	81	秋山 広	15	0.293	46	41	13	12	3	2	0	13	4	17	5	1	0	19	0.463	0.348
23	89	松波 曜一	14	0.270	41	37	4	10	2	0	0	8	4	0	7	0	0	12	0.324	0.341
24	97	西山 晃	12	0.231	40	39	8	9	0	0	0	6	1	8	3	0	0	9	0.231	0.250
25	93	金子 金次郎	12	0.226	34	31	4	7	1	0	0	4	3	4	0	0	0	8	0.258	0.294
26	57	町田 健一	13	0.205	46	39	9	8	1	0	0	1	7	8	6	0	0	9	0.231	0.326
27	74	篠原 二郎	12	0.200	35	30	8	6	2	0	0	4	4	5	7	1	0	8	0.267	0.286
27	7	長谷川 正顕	14	0.200	44	40	7	8	2	0	0	3	4	3	3	0	0	10	0.250	0.273
29	46	成瀬 賴人	13	0.188	38	32	7	6	2	0	0	2	5	6	8	0	1	8	0.250	0.297
30	12	平林 裏	10	0.172	33	29	6	5	0	0	0	0	4	4	6	0	0	5	0.172	0.273
31	76	小澤 利夫	14	0.154	43	39	3	6	0	1	0	4	4	0	2	0	0	8	0.205	0.233
31	33	増田 章三	13	0.154	48	39	12	6	1	0	0	1	9	11	5	0	0	7	0.179	0.313
33	15	石川 清明	12	0.129	35	31	4	4	1	1	0	5	4	1	4	0	0	7	0.226	0.229
34	71	日高 康雄	15	0.077	42	39	4	3	2	0	0	5	3	0	17	0	0	5	0.128	0.143
35	85	北濱 ちぐさ	13	0.029	37	34	2	1	0	0	0	1	3	0	12	0	0	1	0.029	0.108

規定打席数未満

順位	背番	氏名	試合数	打率	打席	打数	得点	安打	二塁打	三塁打	本塁打	打点	四死球	盗塁	三振	犠打飛	妨害	塁打	長打率	出塁率
	82	大谷 漢	4	0.500	11	8	1	4	1	1	0	2	3	0	0	0	0	7	0.875	0.636
	95	長濱 榮昭	9	0.346	27	26	7	9	3	1	0	2	1	4	2	0	0	14	0.538	0.370
	5	伊藤 敏之	1	0.333	3	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.333	0.333
	45	島崎 巍	9	0.227	28	22	4	5	2	0	0	4	6	2	2	0	0	7	0.318	0.393
	3	小林 昭彦	7	0.158	21	19	2	3	0	1	0	2	2	2	4	0	0	5	0.263	0.238

～優勝したSCチーム メンバー談話～

【伊藤 住夫（1）】

安定した投手力とすばらしい攻撃力とエラーの少ない守備で早々と優勝が決められたシーズンでした。そして比較的楽な試合展開が多かった様に記憶しております。但し、適材適所に選手を使われた監督とキャプテンとして頑張られた愛澤さんの苦労に敬意を表したいと思います。私個人としては、3年連続の優勝となりますが、健康的に1年々積み重ねる事が出来ればと願っております。

【平林 裏（12）】

今シーズンのチームは試合内容が非常に良かったと思います。まず投打のバランスのよさ、少ない失策各自が一球に対する集中力が最終戦まで、きれなかった事が結果として優勝に繋がったと思う。30年来の野球仲間である長谷川監督の念願だった優勝もでき、自分の事のように嬉しく思います。来期は、体を鍛えて又挑戦します。お疲れ様でした。

【石川 清明（15）】 6度目の優勝！！

44歳でコメッツに加わった私が、78歳の今年まで35年間野球を続け、2年前、藤原久登さんがリタイヤしてからは、なりたくなかった最年長になってしまった。そして今年チームは優勝である。勿論チームメートの活躍で、私がそれほど足を引っ張らなかつたからだと言う理解はするが、久しぶりの事なので単純に喜んでいる。コメッツクラブは毎年抽選などでチーム編成をしているので、何年かに一度は『優勝』と言うめぐり合わせに預かるのもごく自然の事とも思う。因みに30年史から私の所属チームの成績をひろってみると結果は次の通りであった。

1位…5回 2位…5回 3位…6（2）回 4位…4（2）回

5位…5回 6位…5回 （カッコ内の数字は4チーム編成のとき）

4チームの時は4年に一度、6チームの時は6年に一度優勝するとして、『優勝』回数を単純に計算すると、五回の優勝は平均レベルに近い数字のようである。ただ結成当初の4チーム時代から数えて4チームでの優勝は今回が初めてであった。

最初の優勝は結成7年目で、その時のメンバーを見ると、一期生で今も活躍しているのは長谷川さんと私の二人きりである。改めて時の流れを感じるが、これから先考える事は引退の潮時を大切に…と言う事に成ってしまう。目など五感の衰えはともかく、走れなくなったら大きな迷惑をかけてしまう。その時は…が今の気持である。80歳も近くなっているが、還暦リーグでは大正生まれの方も活躍しています。この方たちを追いかけて、もう暫くお仲間にさせていただくつもりでいます。どうぞよろしくお願いします。

【小池 辰男（50）】

G会員から（2006年）正会員に入部して2年連続して優勝できました。これも長谷川監督と愛澤主将が中心に会員がひとつに前進した結果だと思います。チームの皆様に感謝いたします。

～野球が出来て最高のよろこび～

【下平 義郎（59）】

ここ数年勝利の女神に見離され、優勝など縁のないことと半ば諦めていたのですが、メンバー全員の奮闘により、ようやく春が巡ってきました。喜びもひとしおです。感謝しています。とても粘りのあるチームであると感じていたので、前半大きくなりードされた試合でも、後半必ず挽回できると信じて戦った。特に炎天下の中での熱戦で額に汗した甲斐があり、優勝が見え、“バンザイ”。

【木川 史弘（60）】

見事な采配のベテラン長谷川監督のもとチームワークの素晴らしいチームで野球を楽しみそして優勝、幸せな1年でした。

シニアながら1年間怪我での脱落者も無くまた全員の出席率も高い優勝にふさわしいチームでした。堅い守備そして高い得点力の攻撃に支えられ私個人も優秀投手の栄誉もいただきました。チームメイトに感謝しております。

【河下 浩信（70）】

新チームのメンバーが決まったときに感じたことは、このチームには、実績のあるピッチャーがいない。草野球の場合、ピッチャーの弱いチームは勝てない。従って、我がチームの優勝は無いだろうということでした。ところが、案に相違して、「木川投手」が最優秀投手賞をとる活躍をし、堅い守りと勝負強い打線がかみ合って優勝できました。自分にとっては、ひざの痛みと付き合いながらの苦しいシーズンでしたが、仲間に恵まれ十分に野球を楽しませてもらいました。感謝！感謝！

【愛澤 眞滋（96）】 優勝できるとは…

監督がチームを一つにまとめ上げた結果、優勝につながったと思います。それでS Cチーム全員が野球に取り組む雰囲気ができ優勝に。

1時間30分の野球に今年は何も考えないで最後まで熱中できましたことでした。

皆さん有り難うございました。来年も頑張って下さい。

【西山 晃（97）】

S Cチームの皆さん2007年度優勝おめでとうございます。

私はコメッツ入団5年目での「初優勝」、毎年他チームの優勝を羨ましく思っていましたが、今年のチームは投・攻・守（走・攻・守）三拍子揃った強力チーム。開幕からの連戦・連勝での優勝でした。我が体調・成績共一。チームの皆さんのお蔭で優勝の喜びを体験する事が出来ました。チームメイト・助っ人の皆さん一年間有難うございました。